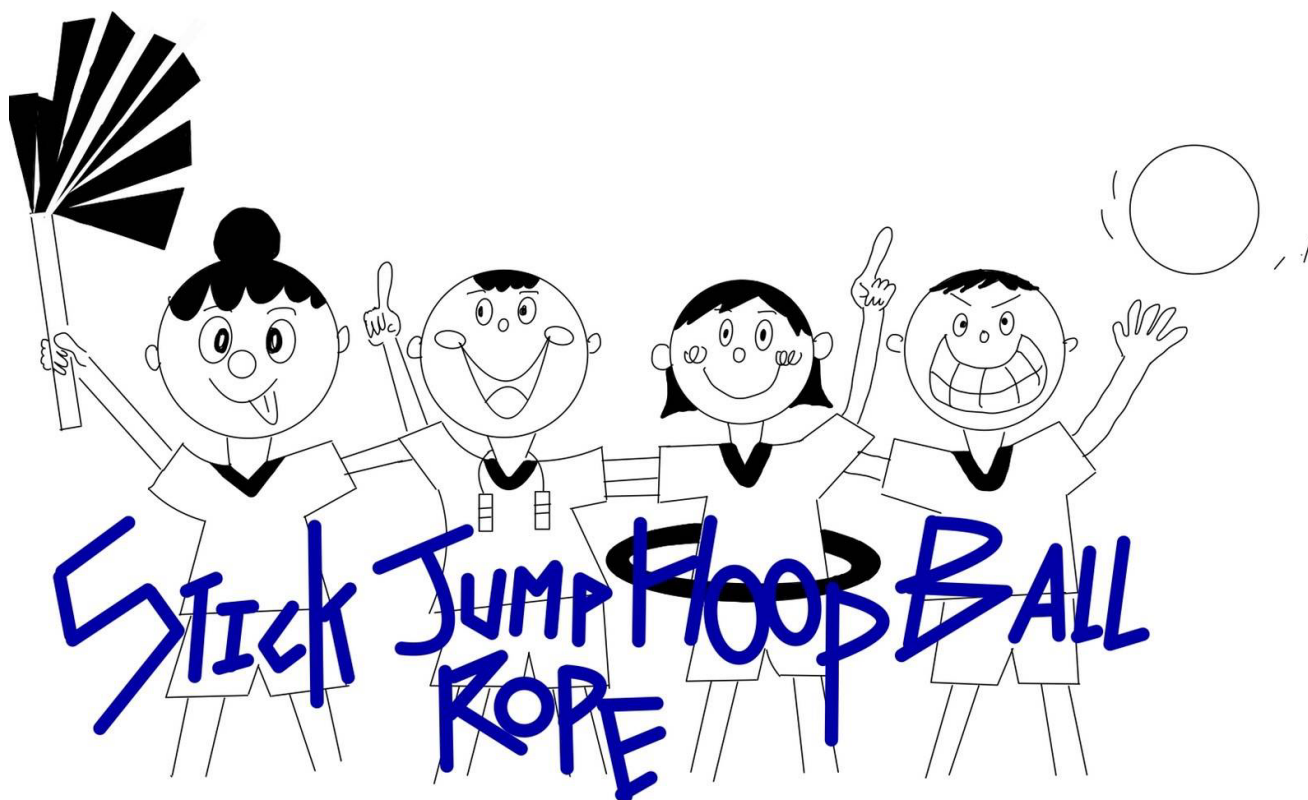


令和4年度 東京都小学校体育研究会 実証授業  
多様な動きをつくる運動（遊び）領域部会

東京都小学校体育研究会 研究主題

「一人一人の子供が  
自ら深い学びを実現していく体育学習」



【本日の講師】

東村山市教育委員会 指導主事  
柿添 剛広 先生

【実証授業】

授業日 令和4年11月29日（火）  
場所 武蔵野市立第一小学校  
（最寄駅：JR中央線・京王井の頭線吉祥寺駅）  
授業 第4学年 体づくり運動  
「多様な動きをつくる運動」  
授業者 中本 隼介 主任教諭

本部会のHPはこちらからアクセス！→



## 研究の全体構想図



# I 研究の概要

## 1 研究主題

「一人一人の子供が自ら深い学びを実現していく体育学習」

## 2 基本的な考え方

小学校学習指導要領の改訂の趣旨やこれまでの研究経過を踏まえて設定した本研究主題による研究は、今年度で3年目（最終年次）となる。本研究会では、これからの体育科の授業に求められるものは、個々の子供が自ら学びたい、追究したいと思う学習課題を見だし、試行錯誤を重ねながら課題を解決していくこと、そして、この学びに子供が協働的に、繰り返し取り組むことで、子供自身が深い学びを実現していけるようにすることであると捉えている。このことが、持続可能な社会の創り手に必要な資質・能力を一人一人が身に付けていくことにつながると考えた。

研究主題に迫るため、令和2年度には、「一人一人の子供が学習課題を見いだすための手立ての工夫」を、令和3年度には「一人一人が見いだした学習課題を解決するための学習過程の在り方」を研究の視点とした。実証授業を通して、子供一人一人が、今もっている力を存分に発揮し、主体的に学ぶ姿が見られる授業への改善を進めることができた。

今年度は、この主体的な学びをさらに充実し、子供が自らの学習をPDCAサイクルに沿ってマネジメントし、深い学びにつなげていけるようにすることを目指して研究を推進し、研究主題の実現に迫る。

## 3 研究の視点

### (1) 本年度の研究の視点

「一人一人の子供の自己評価の力を高める手立ての工夫」

### (2) 研究の視点について

これまでの2年間の研究の成果と課題を踏まえ、子供が自ら深い学びを実現していくことができるようにするため、今年度は、子供が自らの学習課題を解決する活動の中で行う「自己評価」に焦点を当て、研究の視点を設定した。学習課題の解決に向けて、子供が自らの学習を振り返り、新たな学習課題を見いだしたり、学習の進め方や課題解決の手立てを工夫したりして学習を調整し、粘り強く課題解決に取り組めるようになるためには、一人一人の「自己評価の力」を高めることが重要であると捉えた。「自己評価の力」が高まることで、子供たちはさらに主体的に学習に取り組むことができるようになり、PDCAサイクルに沿って自らの学習をマネジメントし、子供自身が自らの力で深い学びを実現していくことができるようになると思う。

### (3) 「自己評価の力」の捉え方について

本研究では、子供たちは、どのような発達の段階であっても、学習経験に違いがあっても、運動や学習に取り組む中で、一人一人が「今もっている力で自己評価を行っている」と捉えている。子供は、これまでの学習経験や運動経験の中で身に付けてきた様々な力を生かしたり関連させたりしながら自己評価を行っている。そのため、一人一人の子供がもつ自己評価の力は、これまでの経験によって異なり、自己評価の場面で活用する力も異なっていると思う。この一人一人がもつ自己評価の力を、子供自身が見いだした学習課題を解決する活動を通して高めていく。

また、子供が今もっている力を生かして自己評価を行い、その活動の積み上げの中で、「自己評価の質」が高まっていくことを「子供の『自己評価の力』の高まり」と捉えている。今年度の研究においては、このような子供一人一人がもつ「自己評価の力」を高めていくための手立てを工夫する。

(4) 研究の経過及び領域部会独自の研究の視点について

① 研究の経過と研究の視点について

本研究会では、研究主題に迫るため、これまでに次の研究の視点を設定して研究を推進してきた。

令和2年度 子供一人一人が自らの学習課題を見いだすための手立ての工夫  
令和3年度 子供が見いだした学習課題を解決していく学習過程の在り方

また、これらの視点に基づく研究活動及び実証授業の結果から、子供が自ら深い学びを実現していくためには、次の2点が重要であると考え、各領域部会においてその手立てを具体化し、実証授業を繰り返し行い、研究を進めてきた。

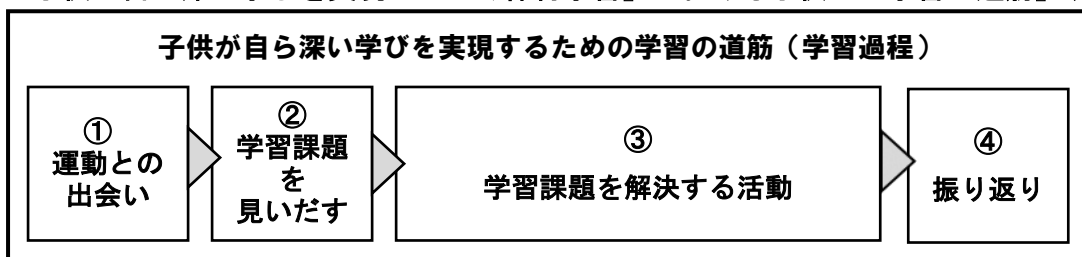
○子供が見いだした学習課題を解決するための手立ての工夫  
○子供と運動との「出会い」の工夫（保健領域では「子供と課題との『出会い』」）

そして今年度、「子供一人一人の『自己評価の力』を高める手立て」に視点を当てて研究を進め実証授業を通して手立ての有効性について検証を行う。特に、「教師が『させる』自己評価から、子供が『する』自己評価へ」の転換を図ることを重視している。このことにより、「子供が自ら深い学びを実現していく体育学習」における子供の「学習の道筋（学習過程）」と、その学習活動を充実させるための教師のかかわり方を明らかにすることができると考え、研究を進めていく。

② 部会独自の研究の視点について

上記の都小体研の研究の視点以外に、各領域部会がこれまでの研究において、研究課題となっている事項のうち優先順位の高いものを「部会独自の研究の視点」として設定して研究を進める。

図：「子供が自ら深い学びを実現していく体育学習」における子供の「学習の道筋」（例）



令和2年度の研究の視点は、図中②のための手立ての工夫とした。研究を進めていく中で、図中③の充実を図るための手立てを工夫する必要があることが明らかとなり、実証授業を通してこれらの手立てについて検証を行った。その際、子供が自らの学習課題を見いだせるようにするためには、「運動と子供との『出会い』」が重要であることが明らかになった。

令和3年度は、子供が自ら学習課題を見いだすことにつながる「運動との出会い」の在り方や手立てを工夫した（図中①）。また、前年度の研究の視点に加え、「子供が運動と出会い、学習課題を見だし、それを解決するための活動を行う」という学習の道筋を整理する目的から、「子供が見いだした学習課題を解決するための学習過程の在り方」に視点を当てて研究を進めた。実証授業を通してこれらの手立ての検証を行った結果、研究主題「子供が自ら深い学びを実現していく体育学習」に迫るためには、子供自身による学習の「振り返り」（図中④）の充実を図ること、学習を振り返ることを通して一人一人の自己評価の力を高めていくことが必要であると考察した。

そこで、令和4年度は、一人一人の子供の『自己評価の力』を高める手立ての工夫」を研究の視点とした。また、子供が行う「振り返り」を単元や1単位時間の終末に行う学習活動に限定して捉えずに研究を進めていくこととした。子供は、学習活動の様々な場面において、自分の動き、運動や学習課題への取り組み方、取り組んだり試したりした結果などを振り返っており、これらを含めて「自己評価」と捉えている。

今年度は、これらを踏まえて実証授業を行い、工夫した手立てについての検証を行った結果を基に、「子供が自ら深い学びを実現していく体育学習」の在り方についてまとめていく考えである。

## 多様な動きをつくる運動（遊び）領域部会 実証授業②

### 1 研究主題の実現に向けた部会の考え方

本部会では、子供の「学びに向かう力、人間性等」を中心に、「思考力、判断力、表現力等」を働かせながら運動（遊び）に夢中になって取り組むことで、結果として多様な動きを身に付けるとともに、体育学習への意欲を高めることを目標としている。

3年間の研究の視点と本部会の考え方を関連させて手立てを講じることで、研究主題である「一人一人の子供が自ら深い学びを実現していく体育学習」が実現されると考える。（5ページ研究構想図を参照）

### 2 研究の視点

#### ○自己評価について

＜本部会における自己評価及び自己評価の力の捉え＞

「自己評価」…自己の学習（動きや学び方）を自分自身で振り返り、評価し、次の学びに生かそうとすること。

「自己評価の力」…自己の学習を自分自身で適切に評価し、次の学びに生かすことができているか。特に、過去の自分と現在の自分を比較して、「どのような取組によって、何ができるようになったか」を考えられているか。（自己変容への気付き）

多様な動きをつくる運動（遊び）では、易しい動きを扱うという特性や、他領域で扱わない様々な動きを一様に扱うという特性から、一単位時間の中で子供の学習課題（やってみたい、できるようになりたい動き）が刻々と変化しやすい。そのような特性があるため、多様な動きをつくる運動（遊び）の学習では、一人一人の子供が個々のPDCAサイクルに沿った学習活動を一単位時間の中でもたくさん回すことができる。その積み重ねの結果として、「自己評価の力」の高まりが見られると考える。

「自己評価の力」は自己評価することによって高められると考える。そのために、本部会では、子供が自己評価する機会を多く設けられるように、「問いの言葉がけ」や「協働的な学び」、「学びの共有」等の手立てを講じていく。（→7～9ページ 手立て①～④を参照）

### 3 夏季合同研究会より

#### (1) 実証授業①より

○問いの言葉がけを精選したことにより、個々の子供の思考を活性化させ、主体的な自己評価を促すことができた。

○子供の思考の流れをPDCAサイクルの形にして整理したことで、教師の手立てがより明確になった。

#### (2) 実証授業②で明らかにしたいこと

○協働的な学びを促すための教師の有効な手立てについて

○個々の学びを活性化させるための学びの共有について

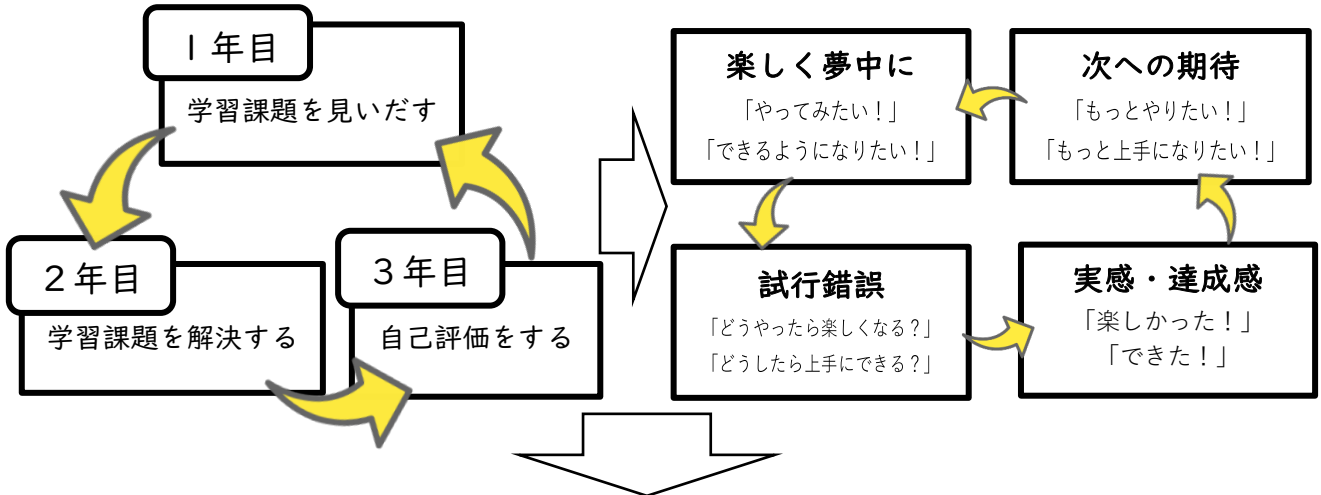
○多様部会が目指す授業づくりの全体像と、今年度の研究の重点との関連について

研究主題

一人一人の子供が自ら深い学びを実現していく体育学習

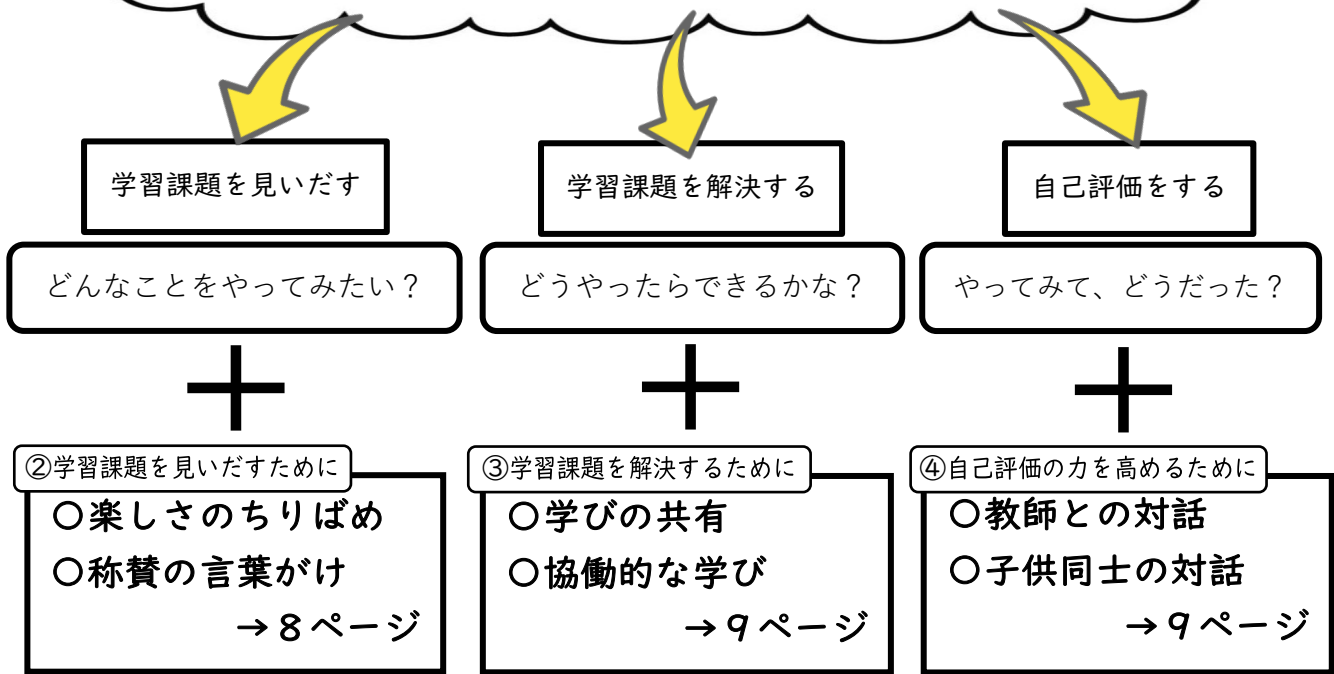
小体研の3年間の研究の視点より

部会として目指す姿



主題に迫るための手立ての工夫

① 問いの言葉がけ → 7ページ



このサイクル・学習過程を繰り返し行うことで  
深い学びを実現していく！

#### 4 学習指導案

##### (1) 実証授業②実施校等

武蔵野市立第一小学校

第4学年1組 児童：28名 指導者：主任教諭 中本 隼介

##### (2) 単元名 多様な動きをつくる運動「一小ランドで運動しよう（フープ）」

##### (3) 単元の目標

知識及び運動	多様な動きをつくる運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、体のバランスをとったり、移動をしたり、用具を操作したり、力試しをしたり、それらを組み合わせて運動したりすることができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	自己の課題を見付け、その解決のための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。

##### (4) 単元の評価規準

知識・技能	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 多様な動きをつくる運動の行い方を知っている。</li> <li>2 姿勢や方向、人数を変えて体のバランスをとる動きができる。</li> <li>3 姿勢、速さ、リズム、方向などを変えて体を移動する動きができる。</li> <li>4 巧みに用具を操作する動きができる。</li> <li>5 力を出し切ったり、力の入れ方を加減したりする動きができる。</li> <li>6 基本的な動きを組み合わせた動きができる。</li> </ol>
思考・判断・表現	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 用具操作の仕方や行う人数など、より楽しく運動ができ、様々な動きを身に付けることができる行い方を選んでいる。</li> <li>2 基本的な動きを身に付けたり、高めたりするために、友達の運動の行い方を比べるなどして、自己の課題を見付けている。</li> <li>3 動きのこつやポイント、行い方について、考えたり見付けたりしたことを友達に伝えている。</li> </ol>
主体的に学習に取り組む態度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 運動に進んで取り組もうとしている。</li> <li>2 きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合って運動をしようとしている。</li> <li>3 友達と協力して用具の準備や片付けをしようとしている。</li> <li>4 友達の考えや取組を認めようとしている。</li> <li>5 運動する場や用具の使い方などの安全を確かめようとしている。</li> </ol>

##### (5) 児童の実態

実証授業①を行った学級と同じ学級で授業を行う。実証授業①のカードを分析すると、以下のことが分かってきた。

単元の序盤の記述は、「〇〇ができるようになった。」「◇◇が楽しかった。」という単純な記述が多くみられた。中盤から、「動きのこつ」や「友達の様子のこつ」、「次時へのめあて」など、具体的な記述が多くみられるようになった。そこから、学習の振り返り方が理解できるようになったと考えられる。

実証授業①後も他領域での学習や他教科での学習を通して、自己評価する経験を積み重ねてきた。その中で、自分の学びを振り返り、自分の感じたことを言語化できるようになってきた。

今回の実証授業②では、友達と関わりながら学習することを通して、自己評価する機会をより充実させていく。その結果として、子供の「自己評価の力」を高め、学習のPCDAサイクルを子供が自らつくり、そのサイクルを回し続け、自ら深い学びを実現していけるようにしていきたい。

(6) 子供が自ら深い学びを実現していくための手立ての工夫

① 問いの言葉がけ

3年間の研究を通して、子供が自ら深い学びを実現していくために、問いの言葉がけによって子供の思考力・判断力・表現力等を耕し、気づきを促すことが効果的であると考えた。一人一人がPDCAサイクルに沿った学習活動を繰り返し行えるように、意図的・計画的に問いの言葉がけを行う必要がある。

ア 問いの言葉がけの種類と具体例

学習課題を見いだすために	「フープを使って、どんなことができるかな？」 「どんなことやってみたいかな？」 「〇〇さんは、何にチャレンジしているのかな？」
学習課題を解決するために	「どうしたら（より）上手にできるかな？」 「上手にできるコツはあるかな？」 「〇〇さんのどんなところが上手かな？」
自己評価の力を高めるために	「やってみてどうだったかな？」 「次はどんなことやってみたいかな？」 (↑新たな学習課題を見いだすという意図も)

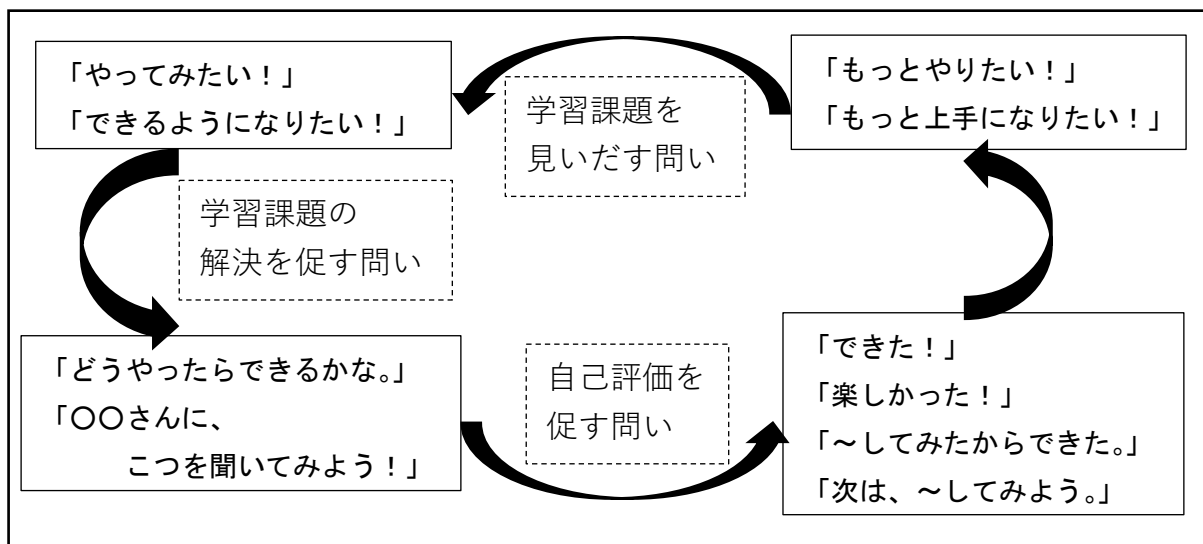
イ 問いの言葉がけと子供のPDCAサイクルに沿った学習活動との関係性

<問いの言葉がけの意図>

- ・ 子供の内省を促し、自分自身を客観的に見つめるため
- ・ 自己の学習課題や解決方法を言語化し、より明らかにするため

※子供のメタ認知に働きかけ、運動の行い方や学び方を身に付けるとともに、その力を他の運動や領域に生かせるようにすることが大切である。

<子供のPDCAサイクルに沿った学習活動と問いの言葉がけのタイミング>

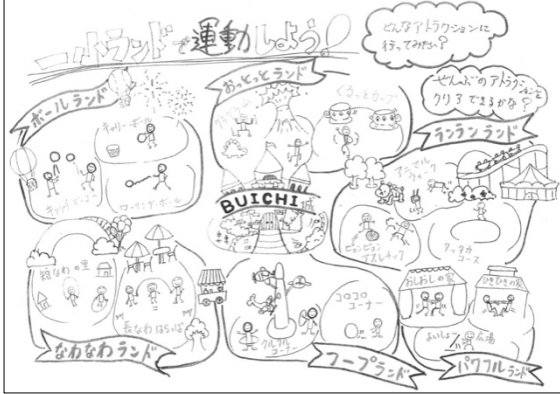




② 一人一人の子供が学習課題を見いだすために

ア 楽しさの散りばめ

子供一人一人が学習課題を見いだすために、「やってみたい!」「もっとやってみたい!」という運動欲求に火をつけるための仕掛けと考えている。そのために、一単位時間の中に本部会が考える「楽しさエキス」を散りばめていく。

<p style="text-align: center;"><b>①学習環境</b></p> <p>【わくわくするような単元設定 掲示物の例】</p>  <p>※単元設定や掲示物などを工夫して、楽しい雰囲気をつくることで、子供の運動欲求に火をつける。</p>	<p style="text-align: center;"><b>②学習に勢いを生む導入</b></p> <p style="text-align: center;">心と体をスイッチオン!</p> <p>☆端的な指示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短い言葉で指示・説明(運動量の確保)</li> <li>・活動と活動のつなぎ(体じゃんけんの活用)</li> </ul> <p>☆解放感</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめは先生と楽しく、色々な動きを楽しむ</li> <li>・友達同士が関わる動き(2人組、ハイタッチ)</li> </ul> <p>☆動きの要素</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャンプ、スキップ、ダイナミックな動き</li> </ul> <p>☆音楽・リズム太鼓等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BGMを活用した準備運動、場の準備・片付け等</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>③歌遊び</b></p> <p>「幸せなら手を叩こう」(座る・立つ)</p> <p>♪幸せなら手を叩こう ♪幸せなら手を叩こう ♪幸せなら 背中をつけようよ ♪ほらみんなでたって(すわって) みよう セーの! ※二人組で背中をくっつけたまま立ったり座ったりする。</p> <p>「人工衛星」</p> <p>♪人工衛星 人工衛星 と〜ま〜れ ※4〜5人で手をつなぎ、引っぱり合って相手を動かす。</p> <p>※歌の中に身に付けさせたい動きを取り入れ、リズムの楽しさを味わいながら効率的に運動できるようにする。</p>	<p style="text-align: center;"><b>④合言葉</b></p> <p style="text-align: center;">いつでも どこでも だれとでも!</p> <p>☆活動に勢いをつける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「〇〇へ レッツゴー!」</li> <li>・「やってみよう!」</li> </ul> <p>☆楽しい雰囲気のまま指示を伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「トントトン トントトン 聞いて」</li> <li>・「お友達を変えて ○人組」</li> </ul> <p>☆みんなで友達を称賛する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「せ〜の」 パンパン ナーイス!!</li> <li>・「せ〜の」 キラーン!!</li> </ul>

イ 称賛の言葉がけ

称賛の言葉がけには、子供が前向きに運動に取り組むための多くの価値をもつ。今回は、主に「やってみたい」「できるようになりたい」と子供が自ら学習課題を見いだすための称賛の言葉がけを取り上げる。特に単元の導入(第1時)では、子供の運動に取り組む態度に着目して称賛の言葉がけを繰り返すことが大切である。

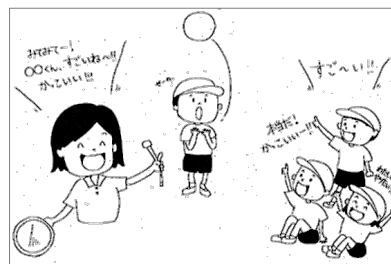
<称賛の言葉がけの例>

- ・走って用具を取りに行き、すぐに運動に取り組んでいる  
「早速やっていて、いいね!」「すごい!もうやってる!」
- ・いろいろな動きに取り組んだり、友達の真似をしたりしている  
「そんな動きもできるんだ、いいね!」「友達の真似してやっても面白いね」
- ・できない動きに何度も挑戦しようとしている  
「何回もチャレンジしてて、すてき!」

③ 一人一人が見いだした学習課題を解決するために

ア 学びの共有（学びを価値付ける時間の設定）

よい動きや学び方を価値付け、全体で共有する時間を設定する。子供が自己の学習課題を解決するために、友達の動きに目を向けるよう促し、動きのこつや行い方の工夫、協働的な学び方を知る時間を意図的に設ける。



動きのこつ	行い方の工夫	学び方
<ul style="list-style-type: none"> <li>・回す前に勢いをつける</li> <li>・フープの動きに合わせて腰を動かす</li> <li>・真っ直ぐに立ててから転がす</li> <li>・フープの上(横)に手を添えてシュッと前に押し出す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腰、手、足などで回す</li> <li>・反対の手で回す</li> <li>・転がしたフープをくぐる</li> <li>・友達と二人で転がし合う</li> <li>・回しながら歩く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でこつを見付ける</li> <li>・上手な友達の動きをよく見る</li> <li>・こつを聞く、教えてもらう</li> <li>・繰り返し取り組む</li> </ul> <p>※協働的な学びの例は以下に記述</p>

イ 子供同士のかかわりを促す（協働的な学び）

上記の学びの共有や運動学習時の言葉がけの中で協働的な学びを促すことで、共生の素地を育むとともに、自己の課題解決に向けた学び方を知ることができる。と考える。

<協働的な学びの例>

- ・友達の動きを見ている。
- ・友達のよい動きを見付けている。
- ・動きのこつを自分の動きに取り入れている。
- ・友達に動きのこつを聞いている。
- ・友達に動きのこつを教えている。



④ 一人一人の子供の自己評価の力を高めるために

子供が自己評価の力を高めるには、「自己の学習課題をもつ」「学習課題を解決する」「自己評価する機会がある」の3点が大切である。その中でも自己評価は、学習後の振り返りだけでなく、運動学習場面や友達とのかかわりの中で行われるものであると考える。教師は、以下の働きかけをすることによって、子供が自己評価する機会を多く設定する必要がある。

ア 教師の対話的なやりとりの例（運動学習場面において）

教師：何にチャレンジしているの？  
 えっと、腕で回しながらスキップしようとしてる：児童A

教師：いいね！やってみてどうだった？  
 多分、できたと思う・・・：児童A

教師：おお！すごいね！何かこつとかあるの？  
 え〜と、まず腕でちゃんと回してからスキップすると上手くできるよ！：児童A

イ 子供同士のやりとりの例（協働的な学びの場面）

児童B（フープを転がしながらくぐる）  
 Bさん、すごい！どうやったらできるの？：児童C

児童B：まずは、真っ直ぐ転がして、姿勢を低くしながらくぐるとできるよ！  
 そうなんだ！やってみるね！：児童C  
 （助言通りにやり、くぐることができた）児童C

児童Bの自己評価  
 「こつを教えたら、  
 C君ができるようになって嬉しかった」  
 「他の友達にも教えてあげたい」

児童Cの自己評価  
 「こつを聞いたらできるようになった！」  
 「もっと他の動きに挑戦してみよう！」

(7) 単元の指導計画・評価計画

時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12 (本時)	13	14	15	16	17	18	19					
学習 内容	○学習の流れの確認 ○準備運動 ○1人でできる手軽な運動 ・「いろいろなウォーキング」 リズムに合わせて移動して、すれ違った友達とハイタッチする。 ・「五歩鬼」 ○2～3人でできる手軽な運動 ・「キセキの数」 2人組や3人組などのグループづくりをゲーム感覚で行う。 ・「むすんでひらいて」 歌遊びにのせて友達と触れ合う ○グループや全員でできる手軽な運動 ・「なべなべそこぬけ」 手をつないで歌遊びにのせて行う。 2人→グループ→全員 ・「風船運び」 グループで手をつないで、風船を落とさないように運ぶ。 ・「だるまさんが止まった」 ボールを使って、だるまさんが転んだを行う。ボールを持っている時は止まる。ボールが手から離れている時は動ける。		○学習の流れの確認 ○準備運動 ○体のバランスをとる運動 回るなどの動きやバランスを保つ動き 「クルッとジャンケン」 「人工衛星」 ○体を移動する運動 這う、歩く、走る、跳ぶ、はねるなどの動き 「UFO」 「陣取りじゃんけん」		○学習の流れの確認 ○準備運動 ○用具を操作する運動 用具をつかむ、持つ、降ろす、回す、転がすなどの動き 「ボール運びリレー」 「ボールギャザーゲーム」 用具に乗るなどの動き【大きなボール】 「大きなボールで○○」		○学習の流れの確認 ○準備運動 ○用具を操作する運動 用具に乗るなどの動き 用具をくぐるなどの動き 【竹馬・一輪車】 【長なわ】 補助を受けな 連続回旋跳びを がら乗る する		○学習の流れの確認 ○準備運動 ○力試しの運動 人を押す、引く動きや力比べをするなどの動き 「俄返し」「押しずもう」「魔法のじゅうたん」 人を運ぶ、支えるなどの動き、物にぶら下がるなどの動き 「手押し車」「おんぶリレー」 など		○学習の流れの確認 ○準備運動 ○体のバランスをとる運動 寝転ぶ、起きる、座る、立つ、渡るなどの動きとバランスを保つ動き 「だるまさん」 「幸せなら手をたたこう」 「ケンケンずもう」 ○体を移動する運動 這う、歩く、走る、跳ぶ、はねる、登る、下りるなどの動き 「じゃんけんすごろく」「だるまさんが転んだ」		○学習の流れの確認 ○準備運動 ○用具を操作する運動 用具を跳ぶなどの動き 【短なわ】 ○基本的な動きを組み合わせる運動		○学習の流れの確認 ○準備運動 ○用具を操作する運動 ○基本的な動きを組み合わせる運動		○学習の流れの確認 ○準備運動 ○いろいろな運動 ・バランス ・移動 ・力試し ・用具操作 「じゃんけんすごろく」		○学習の流れの確認 ○準備運動 ○用具を操作する運動 ○基本的な動きを組み合わせる運動		○学習の流れの確認 ○準備運動 ○用具を操作する運動 ○基本的な動きを組み合わせる運動		○学習の流れの確認 ○準備運動 ○用具を操作する運動 ○基本的な動きを組み合わせる運動	
			<p>&lt;やってみる時間&gt; やってみたい、もっとやってみたい動きに取り組み時間</p> <p>↓</p> <p>やってみる時間を十分に確保する。</p> <p>&lt;学びを価値付ける時間&gt; 一単位時間のねらいに基づいた子供の姿を取り上げ、共有する時間</p> <p>↓</p> <p>&lt;もう一度やってみる時間&gt; もっとやりたい、上手になりたい、できるようになりたい動きなどに取り組み時間</p> <p>↓</p> <p>&lt;学びを価値付ける時間&gt;</p> <p>↓</p> <p>&lt;もう一度やってみる時間&gt;</p>		<p>&lt;やってみる時間&gt; やってみたい、もっとやってみたい動きに取り組み時間</p> <p>↓</p> <p>やってみる時間を十分に確保する。</p> <p>&lt;学びを価値付ける時間&gt; 一単位時間のねらいに基づいた子供の姿を取り上げ、共有する時間</p> <p>↓</p> <p>&lt;もう一度やってみる時間&gt; もっとやりたい、上手になりたい、できるようになりたい動きなどに取り組み時間</p> <p>↓</p> <p>&lt;学びを価値付ける時間&gt;</p> <p>↓</p> <p>&lt;もう一度やってみる時間&gt;</p>		<p>&lt;やってみる時間&gt; やってみたい、もっとやってみたい動きに取り組み時間</p> <p>↓</p> <p>やってみる時間を十分に確保する。</p> <p>&lt;学びを価値付ける時間&gt; 一単位時間のねらいに基づいた子供の姿を取り上げ、共有する時間</p> <p>↓</p> <p>&lt;もう一度やってみる時間&gt; もっとやりたい、上手になりたい、できるようになりたい動きなどに取り組み時間</p> <p>↓</p> <p>&lt;学びを価値付ける時間&gt;</p> <p>↓</p> <p>&lt;もう一度やってみる時間&gt;</p>		<p>&lt;やってみる時間&gt; やってみたい、もっとやってみたい動きに取り組み時間</p> <p>↓</p> <p>やってみる時間を十分に確保する。</p> <p>&lt;学びを価値付ける時間&gt; 一単位時間のねらいに基づいた子供の姿を取り上げ、共有する時間</p> <p>↓</p> <p>&lt;もう一度やってみる時間&gt; もっとやりたい、上手になりたい、できるようになりたい動きなどに取り組み時間</p> <p>↓</p> <p>&lt;学びを価値付ける時間&gt;</p> <p>↓</p> <p>&lt;もう一度やってみる時間&gt;</p>		<p>&lt;やってみる時間&gt; やってみたい、もっとやってみたい動きに取り組み時間</p> <p>↓</p> <p>やってみる時間を十分に確保する。</p> <p>&lt;学びを価値付ける時間&gt; 一単位時間のねらいに基づいた子供の姿を取り上げ、共有する時間</p> <p>↓</p> <p>&lt;もう一度やってみる時間&gt; もっとやりたい、上手になりたい、できるようになりたい動きなどに取り組み時間</p> <p>↓</p> <p>&lt;学びを価値付ける時間&gt;</p> <p>↓</p> <p>&lt;もう一度やってみる時間&gt;</p>		<p>&lt;やってみる時間&gt; やってみたい、もっとやってみたい動きに取り組み時間</p> <p>↓</p> <p>やってみる時間を十分に確保する。</p> <p>&lt;学びを価値付ける時間&gt; 一単位時間のねらいに基づいた子供の姿を取り上げ、共有する時間</p> <p>↓</p> <p>&lt;もう一度やってみる時間&gt; もっとやりたい、上手になりたい、できるようになりたい動きなどに取り組み時間</p> <p>↓</p> <p>&lt;学びを価値付ける時間&gt;</p> <p>↓</p> <p>&lt;もう一度やってみる時間&gt;</p>		<p>&lt;やってみる時間&gt; やってみたい、もっとやってみたい動きに取り組み時間</p> <p>↓</p> <p>やってみる時間を十分に確保する。</p> <p>&lt;学びを価値付ける時間&gt; 一単位時間のねらいに基づいた子供の姿を取り上げ、共有する時間</p> <p>↓</p> <p>&lt;もう一度やってみる時間&gt; もっとやりたい、上手になりたい、できるようになりたい動きなどに取り組み時間</p> <p>↓</p> <p>&lt;学びを価値付ける時間&gt;</p> <p>↓</p> <p>&lt;もう一度やってみる時間&gt;</p>		<p>&lt;やってみる時間&gt; やってみたい、もっとやってみたい動きに取り組み時間</p> <p>↓</p> <p>やってみる時間を十分に確保する。</p> <p>&lt;学びを価値付ける時間&gt; 一単位時間のねらいに基づいた子供の姿を取り上げ、共有する時間</p> <p>↓</p> <p>&lt;もう一度やってみる時間&gt; もっとやりたい、上手になりたい、できるようになりたい動きなどに取り組み時間</p> <p>↓</p> <p>&lt;学びを価値付ける時間&gt;</p> <p>↓</p> <p>&lt;もう一度やってみる時間&gt;</p>		<p>&lt;やってみる時間&gt; やってみたい、もっとやってみたい動きに取り組み時間</p> <p>↓</p> <p>やってみる時間を十分に確保する。</p> <p>&lt;学びを価値付ける時間&gt; 一単位時間のねらいに基づいた子供の姿を取り上げ、共有する時間</p> <p>↓</p> <p>&lt;もう一度やってみる時間&gt; もっとやりたい、上手になりたい、できるようになりたい動きなどに取り組み時間</p> <p>↓</p> <p>&lt;学びを価値付ける時間&gt;</p> <p>↓</p> <p>&lt;もう一度やってみる時間&gt;</p>		<p>&lt;やってみる時間&gt; やってみたい、もっとやってみたい動きに取り組み時間</p> <p>↓</p> <p>やってみる時間を十分に確保する。</p> <p>&lt;学びを価値付ける時間&gt; 一単位時間のねらいに基づいた子供の姿を取り上げ、共有する時間</p> <p>↓</p> <p>&lt;もう一度やってみる時間&gt; もっとやりたい、上手になりたい、できるようになりたい動きなどに取り組み時間</p> <p>↓</p> <p>&lt;学びを価値付ける時間&gt;</p> <p>↓</p> <p>&lt;もう一度やってみる時間&gt;</p>			
	○片付け○整理運動○振り返り		○片付け ○整理運動 ○振り返り		○片付け ○整理運動 ○振り返り		○片付け ○整理運動 ○振り返り		○片付け ○整理運動 ○振り返り		○片付け ○整理運動 ○振り返り		○片付け ○整理運動 ○振り返り		○片付け ○整理運動 ○振り返り		○片付け ○整理運動 ○振り返り		○片付け ○整理運動 ○振り返り					
評価の 重点	知識 技能		①	②		④	①			①	⑤		④⑥	①	②③		④⑥		④⑥					
	思考 判断 表現			①	③			②			②	③			②	③		③						
	主体的に学習に 取り組む 態度		①		④		②	③	④	⑤		④	①	②		④	①		①					

(8) 学習過程

<第4学年 多様な動きをつくる運動「一小ランドで運動しよう」>

時	1	2	3 (本時)	4
	序盤 (やってみる)	中盤 (工夫する)		終盤 (工夫する)
学習内容・活動	<p>○準備運動をする。</p> <p>○「力試しの運動」に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人を押す、引く動きや力比べをする動き【俵返し、押し合いずもう】</li> <li>・人を運ぶ、支えるなどの動き【おんぶ運び、手押し車】</li> <li>・物にぶら下がるなどの動き【ぶら下がりじゃんけん】 など</li> </ul> <p>○「用具を操作する運動」「基本的な動きを組み合わせる運動」に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用具（フープ）を回す、転がす、くぐるなどの動き</li> <li>・用具（フープ）を操作しながら移動するなどの動き</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 60%;">やってみる時間</div> <p style="text-align: center;">※できるできないに捉われず、やってみたい、もっとやりたい運動に取り組む</p> <div style="text-align: center; margin: 10px auto;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 60%;">学びを価値付ける時間</div> <p>(行い方の工夫例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・腕(右・左)で回す、腰で回す等</li> <li>・前に転がす、後ろに転がす等</li> <li>・歩きながら回す、転がしたフープをくぐる 等</li> </ul> <div style="text-align: center; margin: 10px auto;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 60%;">もう一度やってみる時間</div> <p style="text-align: center;">※このサイクルを2回程度繰り返す</p> <p>○整理運動をする。</p> <p>○振り返りをする。</p>			

(9) 本時の学習

① 本時のねらい

- 動きのこつやポイント、行い方について、考えたり見付けたりしたことを友達に伝えることができるようにする。【思考力、判断力、表現力等】
- 友達の考えや取組を認めることができるようにする。【学びに向かう力、人間性等】

② 本時の展開

学習内容・活動	○教師のかかわり ◎配慮児童への支援	□評価（方法）
<p>1 学習の流れを確認する。</p> <p>2 準備運動をする。</p>	<p>○児童に学習の見通しをもたせるために、学習の流れを掲示する。</p> <p>○前時の振り返りができるように、児童の姿を3観点で紹介する。</p> <p>○曲に合わせて体を動かし、心と体のスイッチオンができるようにする。</p>	
<p>3 「力試しの運動」に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワニじゃんけん</li> <li>・引き相撲</li> <li>・ロープ引き</li> </ul>	<p>○友達とぶつからないで運動するために、安全に気を付けている児童を称賛する。</p> <p>◎力試しの運動におけるこつやポイントをつかんでいる児童を称賛し確認する。</p> <p>○重心を低くしている（膝を曲げて腰を低くした構え）児童を称賛し、価値付ける。</p> <p>◎うまくいかない児童には、友達のよい動きを真似させたり、動きのポイントについて言葉がけをしたりする。</p>	
<p>4 「用具を操作する運動」「基本的な動きを組み合わせる運動」に取り組む。（フープ）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「今日もやってみたい動きやできるようになりたい動きに取り組もう。そして、どうやらできそうか考えながらやってみよう。」</p> </div> <p>〈学びを価値付ける時間①〉</p> <p>〈もう一度やってみる時間①〉</p> <p>〈学びを価値付ける時間②〉</p> <p>〈もう一度取り組む時間②〉</p>	<p>〈やってみる時間〉</p> <p>○場の安全に気を付けて運動するように言葉がけをする。</p> <p>○進んで運動に取り組んでいる児童を称賛する。</p> <p>◎前時に共有した行い方やこつ、ポイントをもう一度確認する。</p> <p>○移動を伴う動きをしている児童とその場で行う動きに取り組んでいる児童の場を分ける。</p> <p>〈学びを価値付ける時間〉</p> <p>○動きの質が高まっている児童の姿を全体で共有する。</p> <p>○自分の取組を振り返ることができるように「動きのこつ」や「行い方の工夫」だけでなく、「学び方」も価値付けるようにする。</p> <p>〈もう一度やってみる時間〉</p> <p>○振り返りを生かせるように、やってみたい、できるようになりたい動きにもう一度取り組む時間を確保する。</p> <p>○友達の真似をしたり、行い方を工夫したりして、いろいろな動きに取り組んでいる児童を称賛する。</p> <p>◎運動の行い方が分からない児童には、友達と一緒に運動することを促す。</p>	<p>□動きのこつやポイント、行い方について、考えたり見付けたりしたことを友達に伝えている。</p> <p>【思考・判断・表現】 (観察・発言・学習カード)</p> <p>□友達の考えや取組を認めようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 (観察・発言・学習カード)</p>
<p>5 後片付け・整理運動をする。</p> <p>6 振り返りをする。</p>	<p>○本時で学んだことを児童一人一人が言語化（発表や学習カード）して振り返るようにする。</p> <p>○学習課題を見つめ直したり、新たな課題を発見したりできるように言葉がけをする。</p>	

# 一時間で運動しよう～フープ～

4年 組 番 名前 ( )

やってみてどうだったか。

月 日

月 日

月 日

月 日

多様な動きをつくる運動を振り返ると… ( 月 日)

\_\_\_\_\_ が大切だとわかったよ。  
\_\_\_\_\_

〈多様な動きをつくる運動（遊び）領域部会へのご参加をお待ちしています！〉

本部会では、子供たちが「楽しく基本的な動きを身に付ける」ことができるように、遊びを開発したり、授業改善を行ったりしています。いつでも新規部員を募集しています。ぜひ、一緒に研究をしませんか？

多様部会 HP で、授業資料を UP しています。

東京都小学校体育研究会 多様

検索

### 【多様な動きをつくる運動（遊び）指導資料】

これまでの研究で作成した資料をダウンロードすることができます。

授業に必要なものをダウンロードして、ご活用ください。

#### ・「ひと目でわかる！イラスト版学習過程（R3）」

※教師と子供の授業中のやりとりを視覚化したものです。一単位時間の流れを「問いの言葉がけ」を活用して示しています。



ひと目でわかる！イラスト版学習過程



#### ・「価値付けガイド」

※授業前や授業後に価値付けることの把握し、「動きのこつ」を理解するためのものです。  
※動きのこつは、「子供の声」から集めました。



学び方編



動きのこつ・行い方の工夫編



#### ・「授業ヒントシート」

（令和元年度改訂）

※授業の振り返り、学級全体の子供の学習状況の把握をし、「よい動き」を理解するためのものです。



授業ヒントシート



#### ・「言葉がけ動き例集」

※例示の動きや始めに取り組む動きができていない子供を見付け、どのように教師が子供に言葉がけを行っていくのかを理解するためのものです。

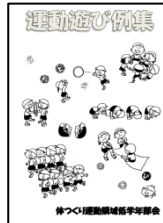


言葉掛け動き例集



#### ・「運動遊び例集（H26）」

※教師の言葉がけの例や動きの工夫の例から、どのように「運動遊び」に取り組むとよいのかを理解するためのものです。



H26 運動遊び例集



H28 実証授業資料



#### ・「運動遊び例集（H25）全国大会編」

※教師の言葉がけの例や動きの工夫の例から、どのように「運動遊び」に取り組むとよいのかを理解するためのものです。



H25 運動遊び例集



H29 実証授業資料



#### ・研究内容「実証授業資料（H28～R3）」

※部会の研究内容をまとめたものとなります。研究の経過や継続している内容などご覧いただけます。

H30 実証授業資料



R3 実証授業資料



R1 実証授業資料



H28 宝の地図

